

Title	人文学研究者必見！研究データ管理ことはじめ : OUKAで始めるIIIF画像の公開と利活用
Author(s)	吉賀, 夏子; 田畑, 智司; 甲斐, 尚人 他
Citation	
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/97757">https://hdl.handle.net/11094/97757</a>
rights	This article is licensed under a Creative Commons Attribution-ShareAlike 4.0 International License.
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

グローバル日本学教育研究拠点「拠点形成プロジェクト」

—人文科学分野向け研究データ管理を促進するデジタル・ヒューマニティーズ学習教材開発—

---

# 人文学研究者必見！研究データ管理ことはじめ --- OUKAで始めるIIIF画像の公開と利活用 ---

---

# 1. 本教材の目的

# (問い) 人文学研究にはデータ管理や共有 が必要なのだろうか？



- ・ 個人の感性や地道で長期的な調査の積み重ねが大事であり、データを共有することには無理があるのでは…？
- ・ 実際に人文学由来の研究データをどのように管理したり、公開したりすればいいのかよくわからない…

# (答え)人文学研究を活性化させる 素地になるので必要

- 自身の研究の発展に寄与
- アウトリーチ活動や学生指導などを活性化



# 「人文学・社会科学におけるデータ共有のための手引き」 独立行政法人日本学術振興会（2021）

[https://www.jspss.go.jp/j-di/data/guide/tebiki\\_p.pdf](https://www.jspss.go.jp/j-di/data/guide/tebiki_p.pdf)



【人文学向けコラム 1(人文学におけるデータ共有の意義)】 p.4 より

1. 研究資料の整理で気づきを高める
2. 誰でも再現できる透明性の高い研究資料を長期的に残せる
3. 二次分析・二次利用で研究発展につながる



# 世界的なオープンサイエンス推進の機運の高まり

## オープンサイエンス

### 研究データ共有を可能な限り実践する活動

- 理念上: 国際共同研究や一般市民とのコラボレーションによる研究活動
- 行政上: 国費による社会への研究成果還元、公正な研究費の運用、研究過程の透明化、オープンアクセス

[参考] 国立情報学研究所オープンサイエンス基盤研究センター  
<https://rcos.nii.ac.jp/document/openscience/>

個人による持続的なオープンサイエンス活動は困難

# AI等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業

NII



## 研究データ基盤高度化チーム

NII Research Data Cloudを7つの側面から機能拡張

NII リーダ機関

研究データ基盤の機能実装

### 活用

#### コード付帯機能

データ・プログラム・解析環境のパッケージ化と流通機能を提供し、研究成果の再現性を飛躍的に向上

### 信頼

#### データプロビانس機能

データの来歴情報の管理から利用状況を把握でき、データ公開へのインセンティブモデルを提供

### 蓄積

#### セキュア蓄積環境

専用HWと高度な暗号化技術による超鉄壁ストレージを提供し、データの共有と保護を両立

セキュア蓄積環境



### データガバナンス機能

### 管理

計画に基づきデータ管理等を機械的に支援し、DMPをプロジェクト管理に不可欠な仕組みへと変革

### キュレーション機能

### 流通

専門的なキュレーションを実施できるエコシステムを構築し、データ再利用の促進に寄与

### 秘匿解析機能

### 保護

秘密計算技術で機微な情報も安心して解析できる環境の提供で、新しいデータ駆動型研究の世界を開拓

### 人材育成基盤

### 育成

RDMに必要なスキルを学ぶ環境を提供し、全ての研究者を新しい科学の実践者へと育成

## プラットフォーム連携チーム



理化学研究所

リーダー機関

- ・ 機関内サービス等とNII RDCの連携機能の整理と設計
- ・ 計測機器等からの大量データを効果的に管理するための要件整理と機能開発
- ・ 管理対象となるメタデータの設計と実証
- ・ 関連する高度化機能との仕様調整と共同開発



東京大学

リーダー機関

- ・ 異なる分野間でのデータ活用やデータ連携に発展する取り組みを精査
- ・ 異なる分野間でのデータ活用やデータ連携に関する具体的なユースケースを創出
- ・ ユースケースをまとめたツールキットの作成とそれを用いた広報活動



名古屋大学

リーダー機関

- ・ 研究データの活用に適した機械可読データの統一的な記述ルール設計
- ・ 研究データの公開に必要な要件や作業フローの整備
- ・ 研究データを適切に取扱うための指針のまとめ
- ・ 学内整備のための事例形成



大阪大学

リーダー機関

- ・ 人材育成を主とした研究データ管理体制の構築を推進し、学内組織構築の事例形成
- ・ 研究データ管理人材に求められる標準スキルに関する検討
- ・ 研究データ管理人材育成のためのカリキュラムの作成、オンライン学習コースの整備

基盤の活用に係る環境整備

中核機関群の代表からなる運営委員会が全体を統括し研究データエコシステムの全国展開に向けて共同実施機関を随時拡大

研究データエコシステム構築事業運営委員会事務局「事業の詳細」

<https://www.nii.ac.jp/creded/project.html>



# 「デジタルヒューマニティーズ」による人文学の オープンサイエンス化推進に向けて

大阪大学研究データポリシー(2023年3月)策定

<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/research/hclg46>

課題: 人文学系の研究データの公開と管理の基礎、実践手法およびその効果を具体的に学ぶ機会は少ない

## デジタル・ヒューマニティーズ(Digital Humanities)

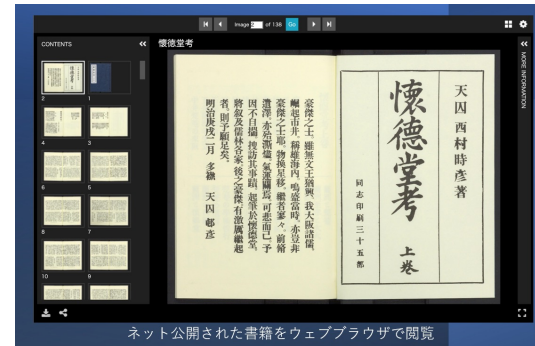
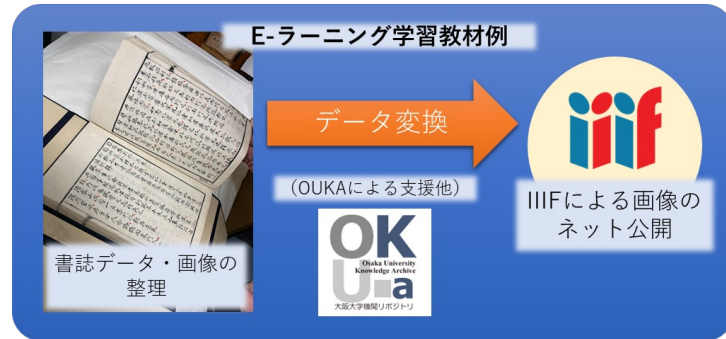
主に情報技術で人文学研究を支援する学際分野

人文学研究の過程に一定の透明性を与え、データ共有の可能性を探る  
手法を考える

# 研究成果の管理と公開、特に画像について

## IIIF (International Image Interoperability Framework) <https://iiif.io/>

- 貴重書等の文化財原本画像をWeb公開し、利活用を促す国際的な画像相互運用のための枠組み



# 大阪大学学術情報庫 OUKA

## 大阪大学の機関リポジトリ

- 本学の研究教育成果発信のためのプラットフォーム
- 本学の教職員(元構成員を含む)は誰でも研究成果を登録可能
- 登録した研究成果は永久的に保存・公開
- 費用負担の必要なし

### ■ 登録可能なコンテンツ

- 学術雑誌論文
- 会議発表論文
- 博士論文
- 紀要論文
- 研究成果報告書
- 図書、会議プレゼン資料、教材
- その他(論文のエビデンスデータ等)

### ■ 登録サポート

- 紀要や本学関連学会誌の電子化の支援
- 出版社等の著作権ポリシーの調査
- 永続的識別子(DOI)の付与



OUKAトップページ

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

# 本教材の構成

1. 本教材の目的
2. 研究データの管理
3. IIIF画像とは何か
4. IIIF画像の基本的な使い方
5. IIIF画像の可能性
6. IIIF対応画像の材料と作り方@OUKA
7. まとめ



(読み)トリプルアイエフ

# 研究データ管理基礎編



lc-2023-0021 FD

「オープンサイエンス時代における研究  
データマネジメントの基礎について学ぶ」



OUKAちゃん